

静岡県健康づくりに関する事業所意識調査



平成29年7月

静岡県健康福祉部健康増進課

調査の概要

1 調査目的

健康経営を推進するにあたり、事業所における健康経営に関する考えや健康づくりの取組状況等を把握し、次年度以降の事業の基礎データとして活用、より効果的な事業の実施につなげるため。

2 実施概要

(1) 実施期間

平成29年1月19日（木）～2月10日（金）

(2) 調査対象

静岡県内の6,000事業所（協会けんぽ加入事業所）

(3) 調査方法

郵送調査法

(4) 回収結果

回収数：3,026票（回収率：50.4%）

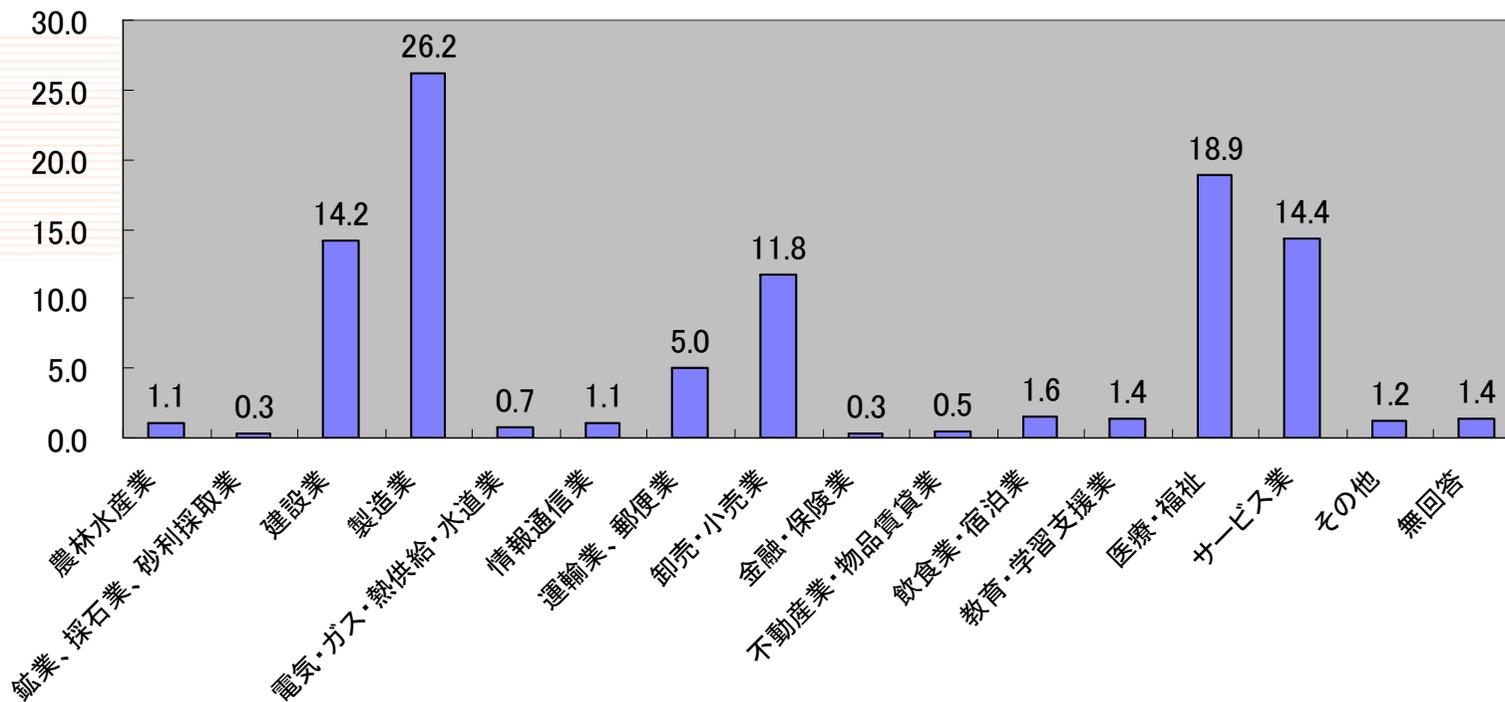
調査の内容

- 1 従業員の健康づくりについて
- 2 「健康経営」の取り組みについて
- 3 静岡県の健康づくり事業について

調査結果（事業所属性①）

事業所の業種

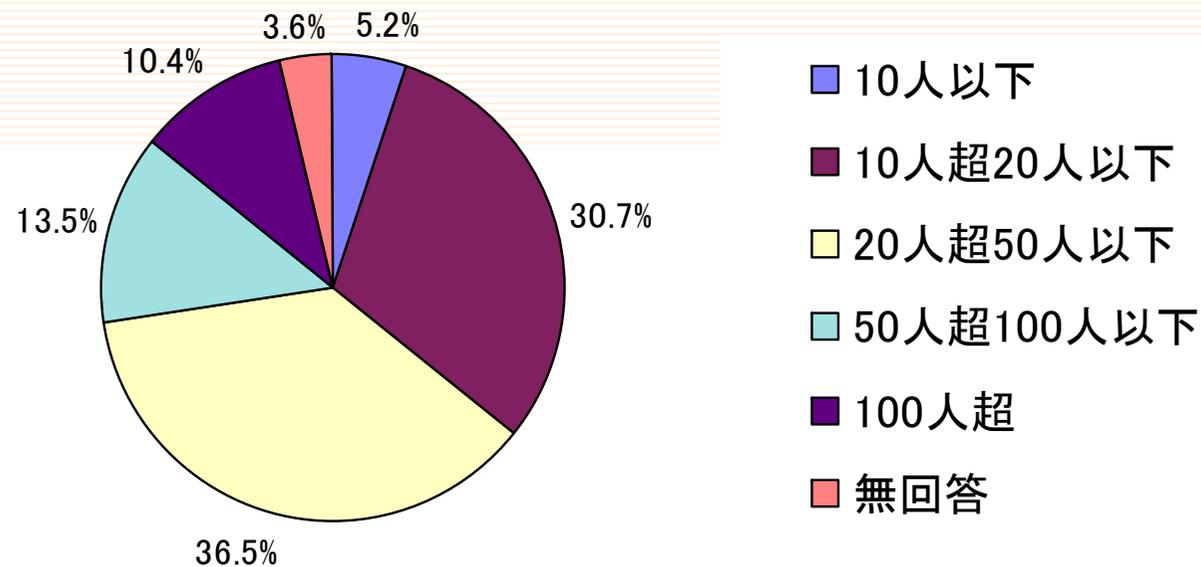
「製造業」「医療・福祉」「サービス業」「建設業」「卸売・小売業」からの回答率が高かった。



調査結果（事業所属性②）

事業所の従業員数

全国健康保険協会静岡支部（協会けんぽ静岡支部）の加入事業所に調査をしたため、10～50人以下の区分が多かった。



調査結果（1 従業員の健康づくり①）

● 定期健康診断の受診率

- ・ 全体では、健康診断受診率が「80%超100%以下」と回答した事業所は84.4%
- ・ 業種別では、飲食・宿泊業（回答数48）において「80%超100%以下」と回答した事業所が52.1%と最も低く、次いでサービス業（回答数435）が74.7%、卸売・小売業（回答数356）が77.0%となっていた。
- ・ 従業員数別では、「80%超100%以下」は、従業員数が多くなるにつれ割合が低くなっていた。

10人以下	87.3%
100人超	81.0%

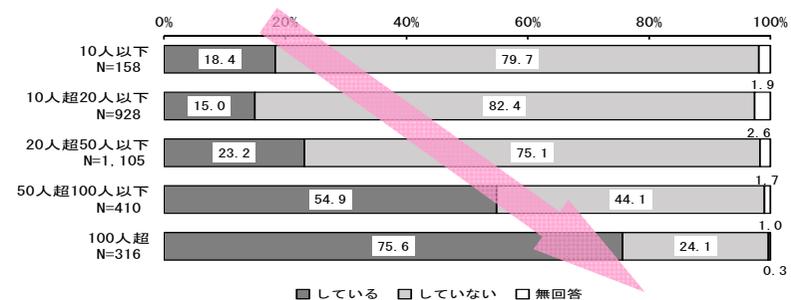
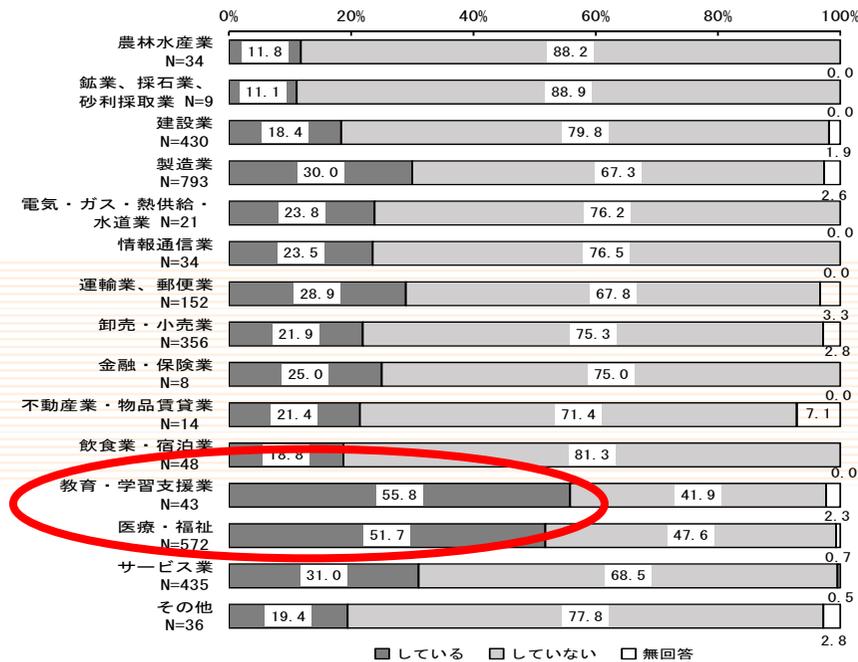


調査結果 (1 従業員の健康づくり②)

●メンタルヘルス

・「従業員に対してメンタルヘルスに関する啓発や教育などの取り組みを実施している」と回答した事業所は、全体で31.0%であったが、業種別で見ると、教育・学習支援業と医療・福祉は、いずれも50%台と高い結果であった。

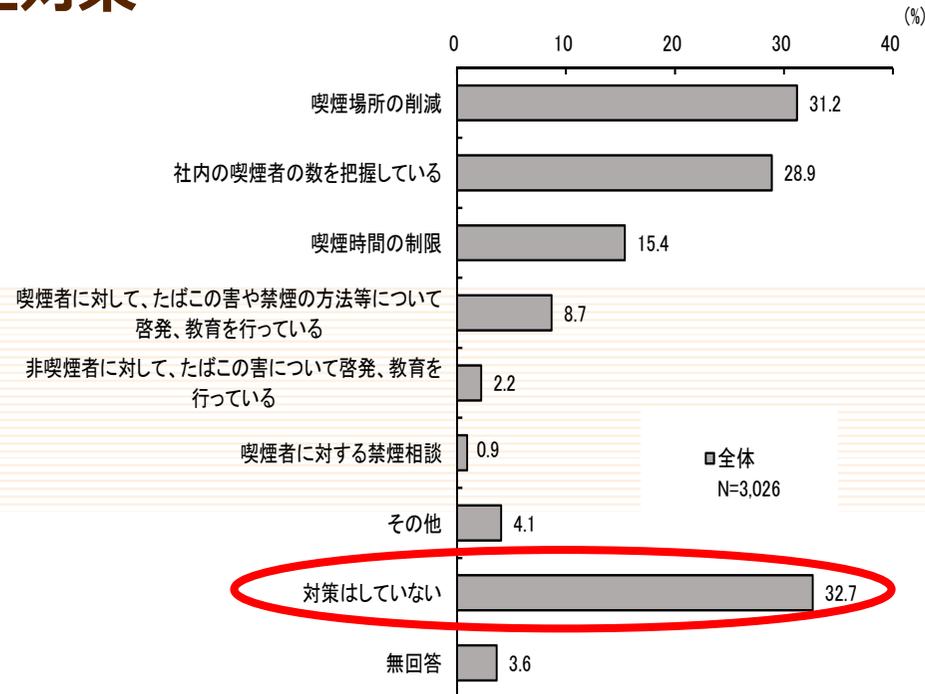
また、従業員数が多くなるにつれ、「実施している」割合が高くなっている。



調査結果（1 従業員の健康づくり③）

●たばこ、受動喫煙防止対策

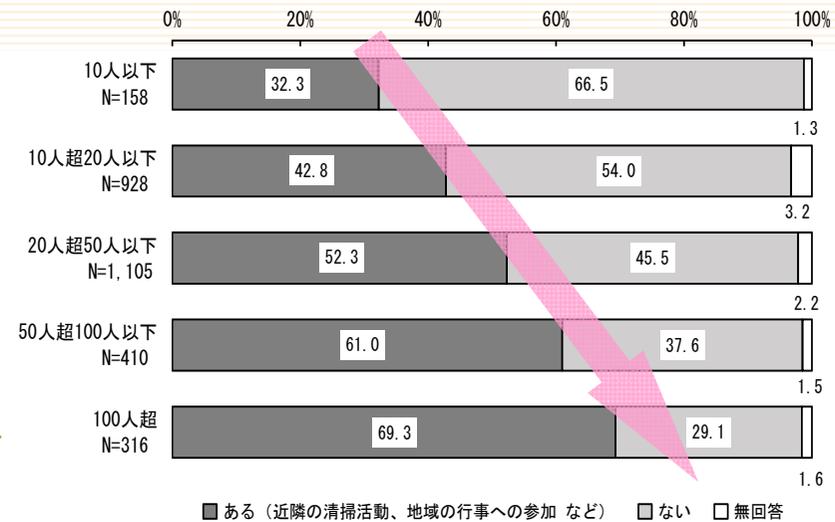
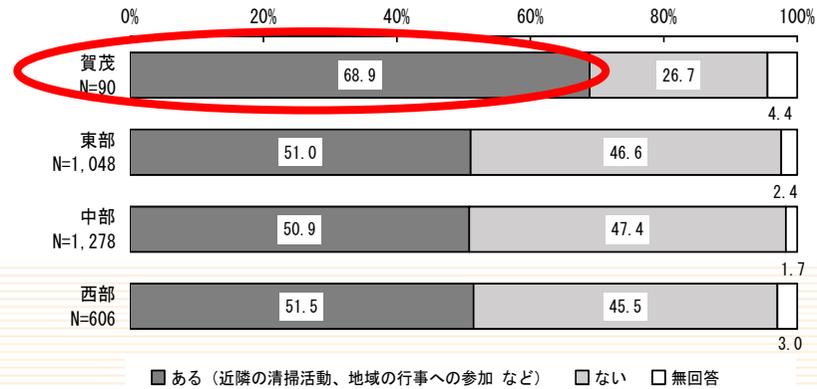
- ・「敷地内・屋内全面禁煙」と回答した事業所は、全体で15.3%であったが、業種別で見ると、教育・学習支援業と医療・福祉は、いずれも高い結果であった。
- ・受動喫煙対策として、行っていることとしては「喫煙場所の削減」が31.2%であったが、一方、「対策は行っていない」も32.7%と高かった。



調査結果（1 従業員の健康づくり④）

●地域貢献・社会参加

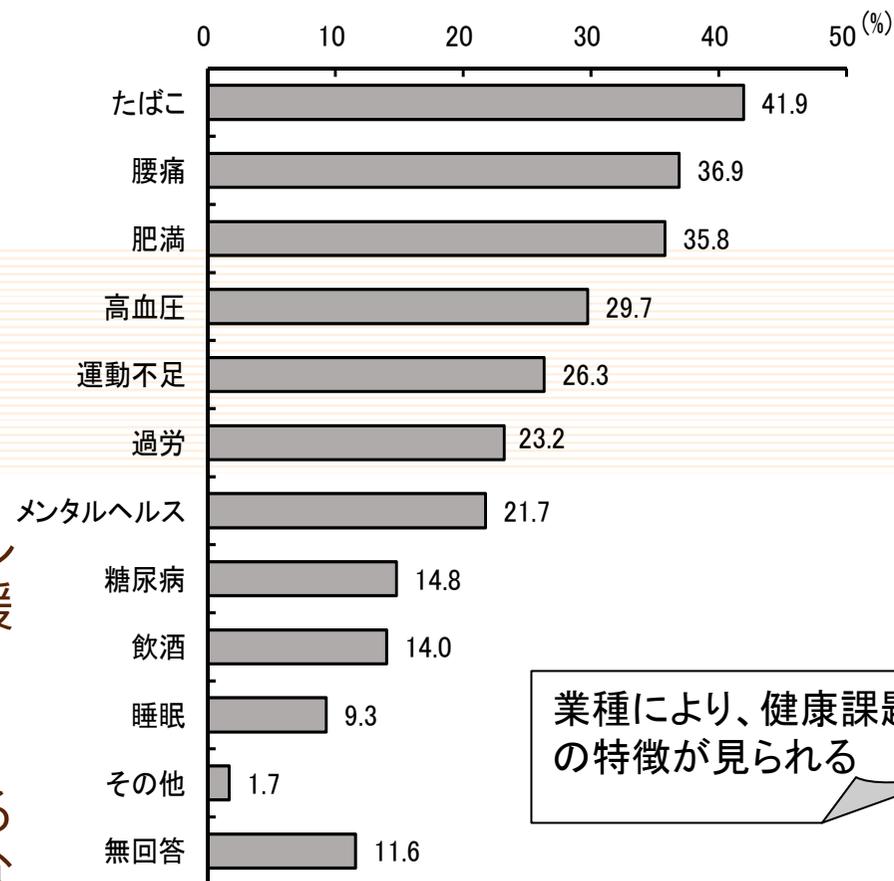
- 「地域貢献として取り組んでいること」について、「ある」と回答した事業所は、全体で51.6%であった。
- 地域別で見ると、賀茂地域が68.9%と高かった。
- 従業員数が多くなるにつれ、地域貢献に取り組んでいる割合が高くなっている。



調査結果（1 従業員の健康づくり⑤）

●健康づくり（健康課題）

- ・「健康課題として認識されているものは何ですか」について、全体では「たばこ」「腰痛」「肥満」「高血圧」の順で高かった。
- ・業種別では、「腰痛」が医療・福祉で61.0%と高く、「メンタルヘルス」は、教育・学習支援業で46.5%と高かった。
- ・また、メンタルヘルスは、従業員数が多くなるにつれ、回答率が高くなっている。

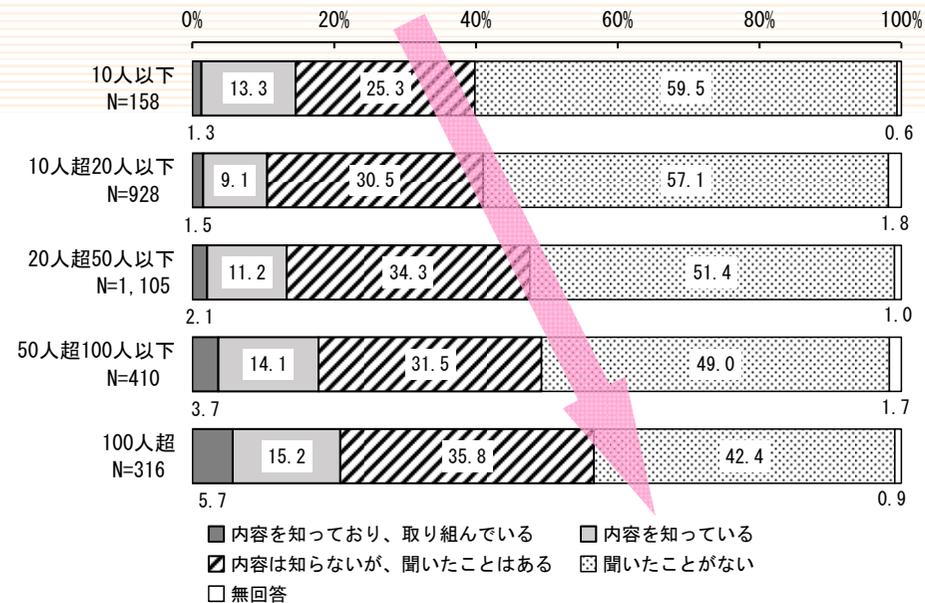
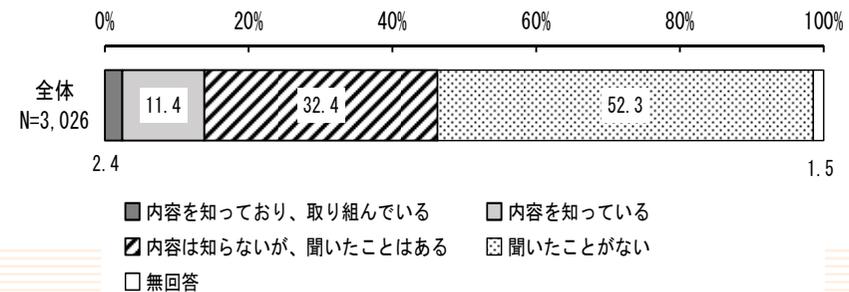


業種により、健康課題
の特徴が見られる

調査結果 (2 健康経営の取り組み①)

● 「健康経営」の認知度

- 「健康経営ということばを知っているか」について、「内容を知っている」から「聞いたことがある」までの回答は、46.2%であり、「聞いたことがない」は、52.3%であった。
 (「内容を知っていて、取り組んでいる」と回答があった事業所は2.4%である)
- 事業所の従業員数が多いほど、「健康経営」の取り組み率及び認知率が高くなっている。

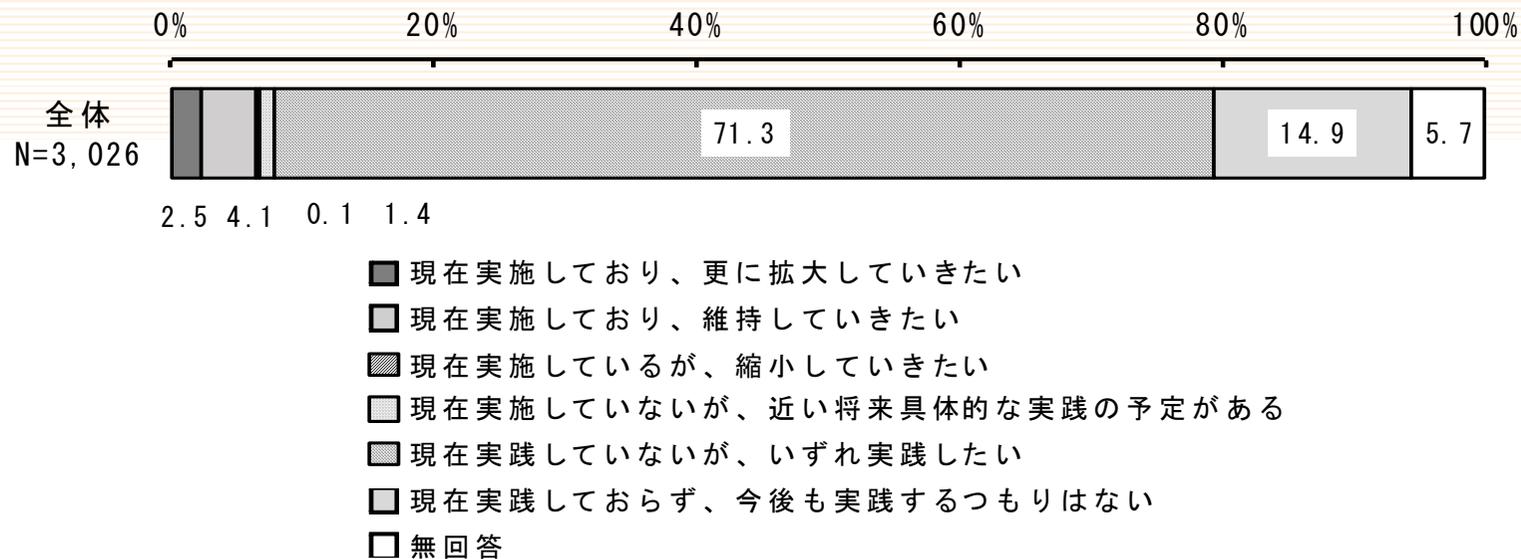


調査結果（2 健康経営の取り組み②）

● 「健康経営」の実施状況

- ・ 現在「健康経営」を実施していないが、実施について前向きな意見は、72.7%であった。

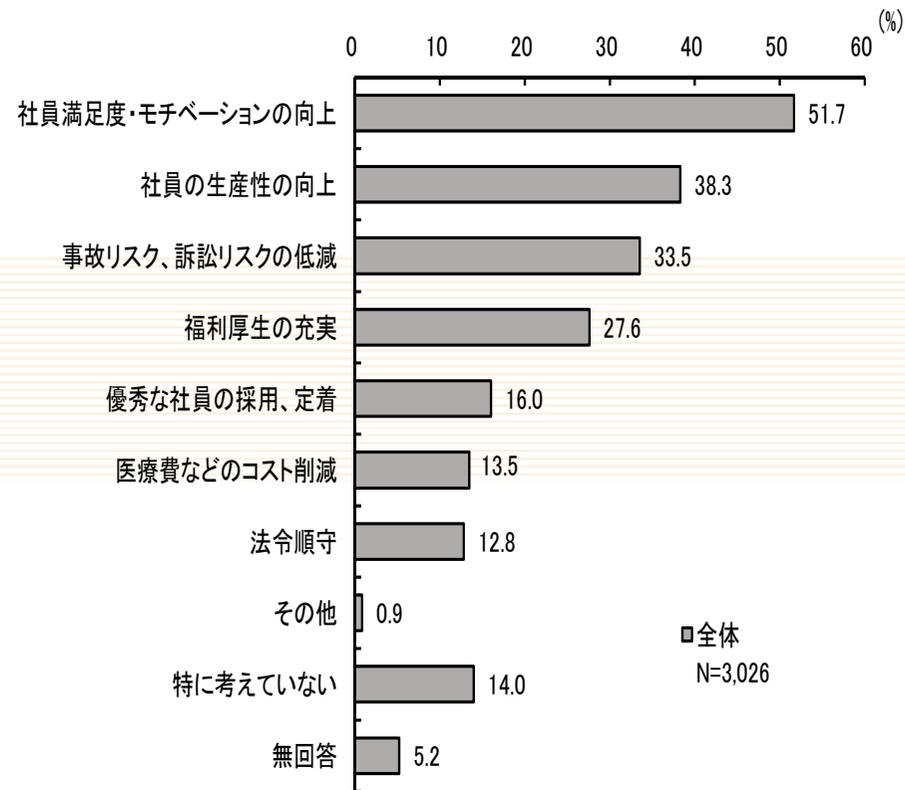
「現在実施しているが、縮小していききたい」「今後も実施するつもりがない」は、15.0%であった。



調査結果（2 健康経営の取り組み③）

●「健康経営」の目的

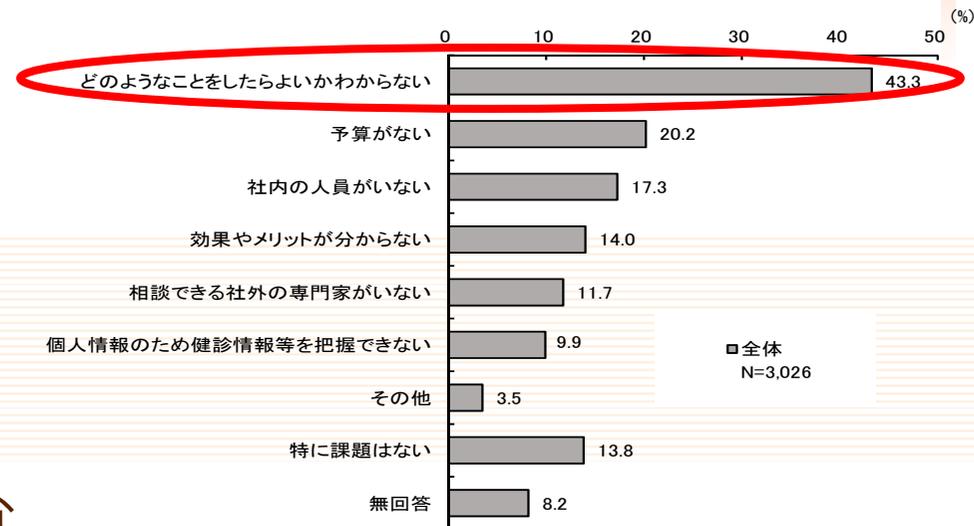
- ・「健康経営」の目的については、「社員満足度・モチベーションの向上」の回答が、51.7%と最も高く、次いで、「社員の生産性の向上」が38.3%となっていた。
- ・鉱業、運輸業については、「事故リスク・訴訟リスクの低減」の回答が他業種と比べ高かった。



調査結果 (2 健康経営の取り組み④)

● 「健康経営」の課題

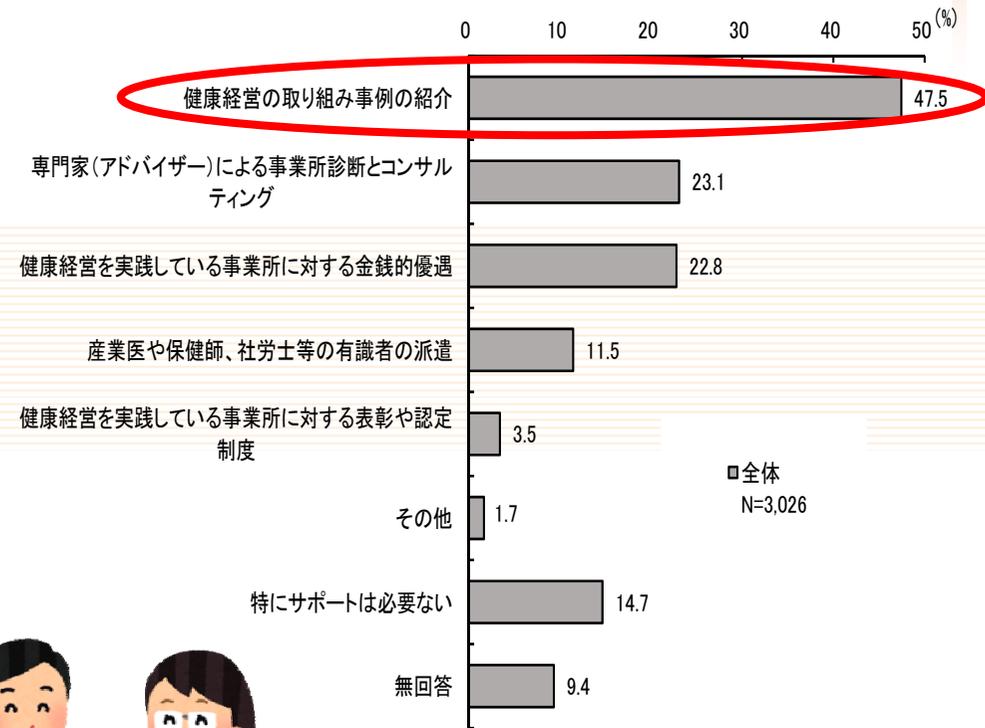
- 「健康経営」を実施する際の課題については、「どのようなことをしたらよいかわからない」と回答した事業所が、43.3%と最も高かった。
- 事業所の従業員数が多いほど、「どのようなことをしたらよいかわからない」の回答率が高くなっている。



調査結果 (2 健康経営の取り組み⑤)

● 「健康経営」のサポート

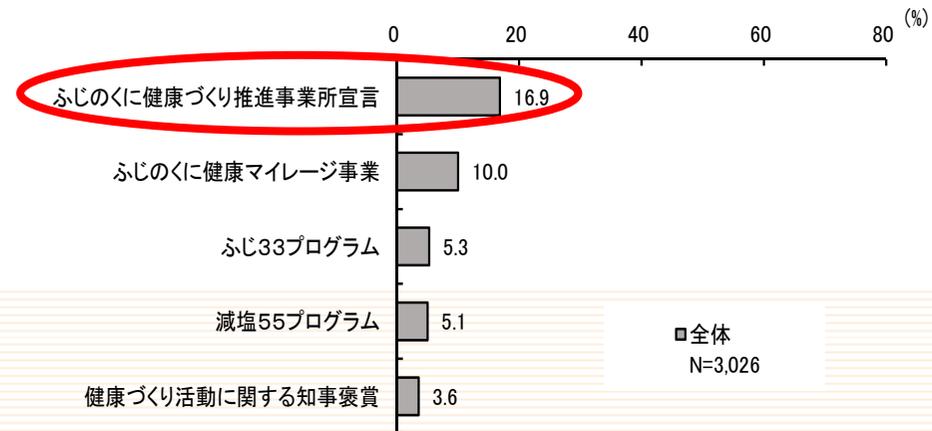
- 「健康経営」の実施にあたり、どのようなサポートが必要かについては、「取り組み事例の紹介」が47.5%と最も高かった。
- 事業所の従業員数が多いほど、「取り組み事例の紹介」の回答率が高くなっている。



調査結果（3 県の健康づくり事業）

● 県の事業の認知度

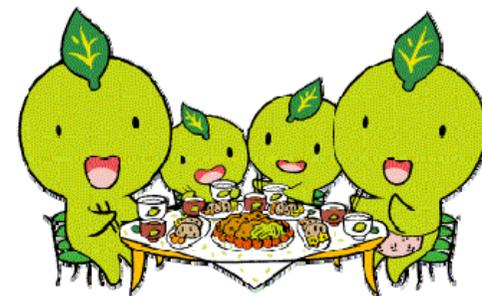
- ・ 県で実施している健康づくり事業の認知について、全体では「事業所宣言」が16.9%、マイレージ事業が10.0%となっている。



● 県の事業に対する意見

- ・ 健康づくりに関する助成や情報発信等について多くの意見の記入があった。

(特に、小規模の事業所では、予算や人員の面であまり余裕がないため、実施しやすい事業を増やして欲しいとの意見が多かった。)



生きがいと健康づくりイメージ
キャラクター ちゃっぴー